

江戸歴史講座第64回 「江戸の大相撲を楽しむ」

日比谷図書文化館では、2020年2月27日（木）に日比谷カレッジ「江戸歴史講座第64回 江戸の大相撲を楽しむ」を開催します。

毎年、大相撲1月場所の前売りは完売となる人気ぶりです。よく知られているように相撲の最古の記録は『古事記』にすでにありますが、庶民の娯楽として親しまれるようになったのは「平和」が250年以上も続き、さまざまな文化が開花した江戸時代のことです。

この講座では江戸の大相撲の力士の活躍ぶりだけでなく、現在も欠かせない土俵・化粧まわし・番付表などの「もの」についても紹介します。さらに錦絵を通して、当時の観客が熱中した相撲場へと案内し、楽しみながら江戸の大相撲を探訪していきます。



「東都両国回向院境内相撲の図」歌川広重(初代)

弘化4年～嘉永5年(1847～1852)

広重による数少ない相撲絵のひとつ。特定の力士を描いた作品ではないが、土俵以外の土間や棧敷の様子もうかがえる。

講師 土屋 喜敬（相撲博物館 学芸員）

1971年、静岡県生まれ。東京学芸大学大学院修士課程修了。専攻は日本近世史。現在、公益財団法人日本相撲協会相撲博物館学芸員、相撲教習所教養講座「相撲史」講師。史料から相撲の歴史を紐解き、展示や調査研究を行っている。著書に『ものと人間の文化史 相撲』（法政大学出版局、2017年）、論文に「文政後期の江戸相撲と吉田善左衛門家」「近世後期の相撲興行と両国地域」など。

開催概要

- 日時：2020年2月27日（木）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円（千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、中村 nakamura-shoko@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3340/ FAX：03-3502-3341

ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/